

群馬県青少年赤十字の 現状と課題について



日本赤十字社群馬県支部
組織振興課長 榎原 康弘

群馬県青少年赤十字の概況（令和4年度）

群馬県の加盟率 95.1%

加盟校 546校 加盟メンバー数 約14万人

※小中高の公立校は100%加盟

※公立中学校は平成27年度（2015年度）に全校加盟

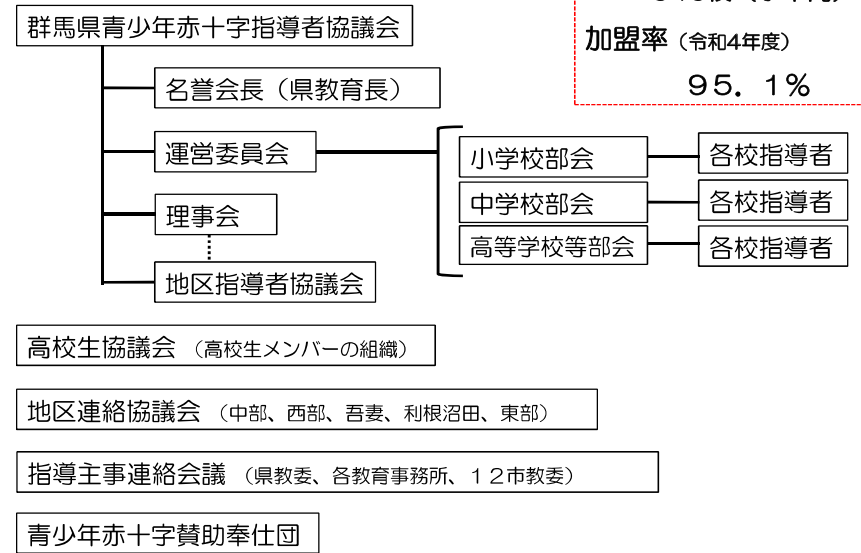
※公立小学校・公立高等学校は平成28年度（2016年度）に全校加盟

※令和5年度はしろがね特別支援学校様、群馬大学共同教育学部附属
特別支援学校様、桐生特別支援学校様に加盟いただいております。

（参考）全国の概況（令和3年度）

- (1) 全国の加盟校数 約1万4, 441校
- (2) 全国のメンバー数 約349万人
- (3) 全国の加盟率 31.3%

群馬県の青少年赤十字組織



「青少年赤十字」の目標

実践目標

健康安全、奉仕、国際理解・親善

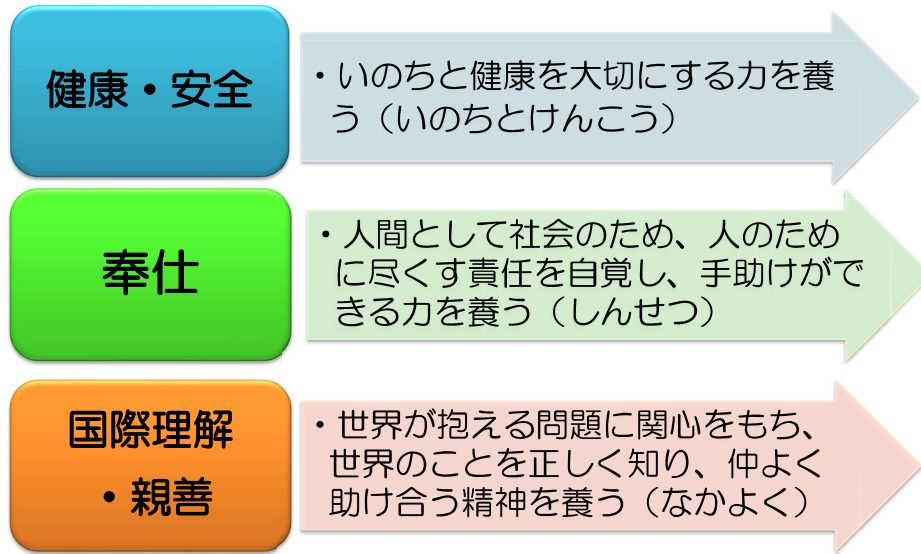
態度目標

気づき、考え、実行する

人道（やさしさ、思いやり）の輪の拡大

誰の心の中にも本来ある
「やさしさ」や「思いやり」の心を引き出し
主体的に行動できるこどもを育てる

実践目標



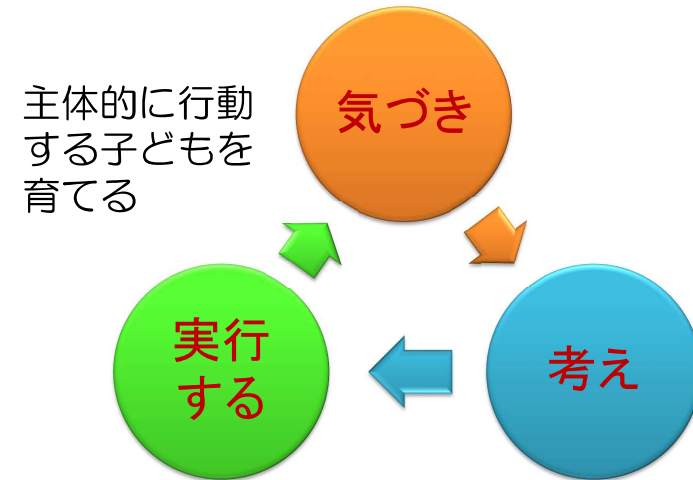
「青少年赤十字」と「新学習指導要領」

- 体験学習の充実（炊き出し体験、救急法講習）
- 道徳教育の充実（5分前行動、清掃活動、募金活動）
- 防災・安全教育の充実（防災教育プログラム）
- 生徒指導の充実（リーダーシップ・トレーニング・センター）
- いじめ対策（人道法の学習、JRCの目的の意識づけ）
- キャリア教育の充実（リーダーシップ・トレーニング・センター）
- 地域に開かれた学校（ボランティア活動、施設訪問）

「生きる力を育む」

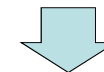
青少年赤十字は『特別』なことではなく
地域社会、学校教育が目指すところと合致

「青少年赤十字」の態度目標



青少年赤十字の指導上の考え方

- 先見（先を見通して行動できる態度）
- ボランティア・サービス（奉仕活動）による問題解決
- 指示のない生活（掲示板の活用）
- 積極的な待ちの姿勢
- 「人道の4つの敵」の克服
（利己心、無関心、認識不足、想像力の欠如）



主体的に行動する子どもの育成

防災教育プログラム 「まもるいのち ひろめるぼうさい」

防災教育の達成目標

まもるいのち

自分のいのちを守る力を身につけること。

ひろめるぼうさい

学校、地域、家庭に防災を広めることで、防災意識を高め、周りのいのちを救うこと。いのちの大切さ、思いやる心を育てること。



防災教育プログラムの内容



テキスト（指導案） DVD（映像） CD-R（教材）

- *テキスト、DVD、CD-Rには、小学生用（1～3年）、小学生用（4～6年）、中学生用・高校生用の3バージョンを収録
- *DVD（映像）は、日本語字幕、副音声対応（CHAPTERで選択し災害別に学べる）
- *1コマ 40～50分の展開案（指導展開）が付いているので、使いやすい。

⇒ 授業で使える教材

青少年赤十字創設100周年

青少年赤十字は令和4年5月5日に創設100年を迎えました

これを機に、全国各地で関連行事・活動を展開し、青少年赤十字事業の一層の理解促進・普及を目指します。

- 赤十字の精神を再確認しましょう
- 世界の平和と人類の福祉に貢献しましょう
- みんなで100周年のお祝いをしましょう
- 全国の青少年赤十字メンバーと情報を交換しましょう
- 自分たちの活動を活発にしましょう
- 楽しく有益な活動を実施しましょう

ロゴマーク



100年続く青少年赤十字のイメージをデザイン化

スローガン

未来のあなたへ、やさしさを。

未来とは・・・1秒後から10年後の遠い日までを示します
あなたは・・・You（他人）やI（自分）幅広く意味します

・100の中にある「青少年赤十字マーク」と「日本赤十字社公式キャラクター「ハートちゃん」やピンク色の英文字「JUNIOR RED CROSS 100th ANNIVERSARY」から世界性と活気を感じるデザインです
・100周年を記念し全国のブロックから応募された作品の中から選ばれました

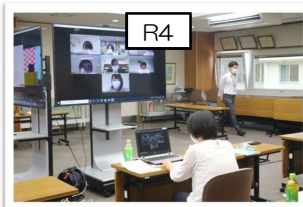
青少年赤十字創設100周年



青少年赤十字創設100周年大会 in Gunma

令和5年度の行事開催状況等

3 リーダーシップ・トレーニング・センター



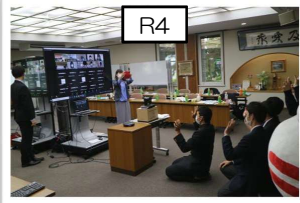
	R5
小学校	8月22日(火)～23日(水)
中学校	8月8日(火)～9日(水)
高校	7月25日(火)、 7月27日(木)～28日(金)

※各校種とも宿泊は1泊2日(赤城少年自然の家)

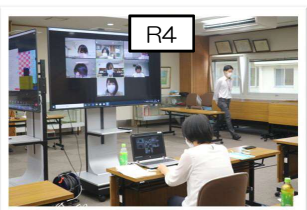
これまでの活動を工夫して繋げていく段階から
コロナ禍以前の活動を再開していく段階へ

令和5年度の行事開催状況等

1 青少年赤十字高校生協議会総会



2 青少年赤十字指導者講習会



(参考) 活動事例



(参考) 活動事例



青少年赤十字の課題について

1 指導者の育成

⇒ 青少年赤十字の指導者が不足している。日赤としては、青少年赤十字の考えを学校教育の中で広めていただくことの意義を継続して発信することにより、各教育委員会や校長先生方の更なる理解促進を図り、参加しやすい環境作りに努める。

2 活動の活性化

⇒ 新型コロナウイルスの影響によって規模を縮小、または中止していた活動を関係者の理解を踏まえたうえで再開していくとともに、各地区または学校単位での活動について、活動の活性化に繋がる情報共有等ができるように日赤から積極的に情報提供するよう努める。

多様化が進む社会における人道の輪の拡大

— 多様な価値観が共生し、「互いを尊重し、助け合う」社会へ —



豊かな心をもった青少年の育成強化

- これからの教育現場のニーズに即した「青少年赤十字」活動の再編
- 「不登校」や「いじめ」等の学校が抱える問題解決の一助となる人道教育の展開
- 地域社会とのつながりを体感できる新たな「青少年赤十字」活動の導入

JRC活動は、決して特別なものではありません。

よりよい社会や人道の輪の拡大のための

「気づき」の種は様々なところに潜んでいます。



いざというときに行動できる子どもたちを育てるため、JRCを有効に活用してください！

JRCの活動でご要望があれば遠慮なく連絡ください！